≪世界水準の観光地の形成≫

観光シーズンに向けたサイクルツーリズムの 各種取組







世界水準の観光地形成

🥝 国土交通省

「世界の北海道」を目指して

一北海道総合開発計画-

観光シーズンに向けたサイクルツーリズムの各種取組

○アジアの中でも特徴的で魅力的な北海道の観光資源を活かし、広域的な周遊観光等の地域振興実現のためサイクルツーリズムを推進しています。主な取組についてご報告いたします。

①自転車走行環境整備

- ○道内のサイクルルートでは自転車走行環境の整備を推進 <羊蹄ニヤフエリアサイクルルートの取組例>
- 1:路肩狭小区間の拡幅(L=5.2km) (R4年度実施)
 - ⇒国道5号:倶知安町市街〜道の駅ニセコビュープラザ間を含む
 - 羊蹄山を一周する「エゾイチ」コース(左回り方向)の走行快適性が向上
- 2:GW明け以降順次、矢羽根型路面表示を設置予定
- 3:6月下旬頃からニセコ除雪ST開放(駐車場等休憩施設の提供)
- 4:地域関係団体の活動(シェア・ザ・ロードの普及啓発、サイクリングガイドの養成等)への協力 サイクリングシーズンにつけて道の駅等へのポスター掲示やSNSでの発信を予定

羊蹄ニセコエリアの サイクルルートの内 **羊蹄山を一周する** 「エゾイチ」











②自転車開きイベント

- ○道内各地で春イベントを開始
- ○R5年3月に新規ルートとなったRookieの「オロロンライン・サイクルルート」では、5月12日に道の駅「るもい」で『自転車開き』としてサイクリスト応援カー出発式等の各種イベントを開催



サイクリスト応援カー出発式状況 (R4年度状況)



a 知守

地域の活動団体である「シーニックバイウェイ北海道 萌える天北オロロンルート運営代表者会議」が、 交通安全のため、自転車御守を作成し、道の駅等 で配布(R4年度状況)



道の駅等に自転車ラックを設置

③サイクルラック等の設置

○セコマグループとの連携協力協定に基づき、 観光シーズンに向け、サイクルルート沿いの セイコーマート163店舗のうち124店舗[※] (約8割)にサイクルラックを設置



サイクルラック設置状況

- ※ルート沿い以外も含めると152店舗にラック設置
- ○合わせて、今年度よりサイクルルート沿いの店舗には サイクルルートマップも設置

<参考資料>



「世界の北海道」を目指して

一北海道総合開発計画-





北海道内 モデルルート

地域関係団体の活動(シェア・ザ・ロードの普及啓発ポスター)

く参考資料>



「世界の北海道」を目指して

北海道開発局と(株)セコマ及び(株)セイコーフレッシュフーズとの「北海道の生産空間の維持・発展に資する連携協力協定」締結式

·締結式:令和3年6月21日(月)

一北海道総合開発計画-

•場 所:札幌第一合同庁舎

連携協力協定の概要

坐 国土交通省

「世界の北海道」を目指して



株式会社セコマ 株式会社セイコーフレッシュフーズ

考え方

強み

地域のお客様の暮らしを支えるなくてはならない存在として、さらにその魅力と価値を高めていきます

役割や

北海道の地域カバー率97%を超える約1,100店の店舗

- ・北海道内の主要12箇所、本州4箇所の物流センターを 拠点に、全道各地の店舗を支える独自に構築して きた物流ネットワーク
- ・北海道の魅力を広げていける商品の企画開発や地域産業の 振興等を通じた地域活性化



国土交通省北海道開発局

考え方

食料基地としての持続的発展、「観光先進国」実現をリードする世界水準の観光地の形成のため、食と観光を担う「生産空間」を支える取組を重点的に進めています



- ・北海道における河川、道路、港湾、空港、農業基盤、漁港といった国の基幹的な社会資本の整備・管理
- ・地方自治体や国の機関等との行政機関のネットワーク
- ・さまざまな地域づくりや観光・交流に関する地域の取組 との協働活動



「生産空間」に住み続けるために不可欠な人流・物流の確保、「生産空間」の強みを活かした観光の振興等に係る取組を推進

連模項目

道路交通の安全性の確保に関する取組

観光地の形成に関する取組

災害等に伴い広域的に影響が及ぶ<u>国道の通行止め時の情報共有</u>に関する取組 その他生産空間の維持・発展に向け両者が連携・協力することができる取組

① 道路の異常等の情報共有 セコマグループのトラックドライバ

セコマグループのトラックドライバーが道路の異常や破損等を発見した際に「道路緊急ダイヤル(#9910)」に通報

当面の 取組 ②大雪・暴風雪時等における滞留車両乗員の救援物資調達

冬期の大雪・暴風雪時等に長時間にわたる大規模な車両滞留が国道で生じた場合には乗員の人命に影響を及ぼすおそれがあることから、乗員保護のため食料品・飲料水その他必要な救援物資を調達する必要が生じた際に、道内各地のセコマ店舗等との連携により物資確保を実施

③サイクルツーリズムの推進による地域活性化

北海道サイクルルート連携協議会(事務局:北海道開発局・北海道)の基幹ルート沿いのセコマ店舗をサイクリストの休憩施設として案内するとともに、特に休憩施設が不足する地域のセコマ店舗へのサイクルラック設置を試行

④災害等に伴う広域的な国道の通行止め時の情報共有

社会的な影響が大きいと見込まれる災害等に伴う広域的な国道の通行止めが発生した場合に、地域のライフラインであるセコマグループと物流を支える道路インフラを管理する北海道開発局が情報共有することにより、地方部の生産空間への生活物資輸送の円滑化に貢献